

～お客様からのコメント～

ゆみちる様より

島谷さん、お子さんを
想う気持ちがとても共感できて、
気が引き締まる思いでした。
今、ちょうど我が家の娘も
大変な時ですが、向の字を
意識して頑張っていこうと
思います。

共感して頂きありがとう
ございます。今の私を成長させて
くれているのは、娘たちのおかげです。
ゆみちる様、一緒に向き合っ
ていきましょう！

おっちゃん様より

愛刀家一年の初心者です！
現在、刀、脇差、短刀各一振り持っ
ております。いずれも無銘なので、
次は在銘の刀を検討しております。
「語ります」の短刀は、勉強になり
ました。次号も楽しみにして
おります。

ありがとうございます。
おっちゃん様はどんな刀工が
お好きですか？日本の素晴らしい
古美術品、歴史を知ってもらえる
ようにこれからも発信して
いきたいと思っております。

長野県 K様より

海外のお侍さん発見、に
興味を持ちました。
外人さんが日本刀に熱い想いを
持ってくれるのは、日本人として
嬉しく思います。
刀は日本の宝物ですからね。

ありがとうございます。
本当に嬉しい限りですね！！
もっともっと世界中の方に日本の
良さを届けられる様に
頑張ります！！

湊の親父様より

短刀の種類や使い方がわかり
たためになりました。また、海外に
刀を製作している人がいるとは
ビックリしました。楽しい読物です
がページが少ないのが残念です。
もっとページ数が多ければもっと
楽しめると
思います。

ななな、なんと!!嬉しい
言葉…(嬉泣)ありがとうございます。
これからも、より楽しんで頂ける様な
内容に出来るよう、しっかりと勉強させて
頂きます!!今後共よろしく
お願い致します。

とりぽっぽ様より

毎回、斜め上からの面白い記事で、楽しく拝見しています。
アットホームな雰囲気の記事なのに、クオリティーが高く、
大抵この手のニュースレターは読まずに捨てますが、
「大和魂」はなぜか読んでしまいます(笑)
2月号は興味のある刀についての記事で、なかでも「おそらく」
造りの「おそらく」の銘を見たことがなかったので、
おお!と思いました。

ありがとうございます。捨てずに読んで
頂いているなんて…本当に嬉しいです!幸せです!!
とっても励みになります!!こんな記事が良いなどの、
リクエストとかありますか?これからも、捨てずに
読んで頂ける内容の「届けます!大和魂」に
していきます!!

沢山のコメントを下さり、誠にありがとうございました。これからも、ご意見、
ご感想があれば、お聞かせ下さいませ。どうぞよろしくお願い致します。(中堀)

佐賀県 N様へ... **届けました!!お年玉プレゼント**

こいつは春から縁起がいい!
今流行りの、平成最後のプレゼントになりました。
ありがとうございました。

ご当選おめでとうございます!! お写真、誠にありがとうございます。
令和もN様にとって、素晴らしい年であるといいですね(*^^*) 令和もどうぞ、よろしくお願い致します。

今号の大和魂はいかがでしたか? 皆様のご意見・ご感想どしどしお寄せください。お待ちしております。

件名:ニュースレター返信
と入力して送信して下さい。



最新情報は
こちらから

ホームページ <https://daimyou.com/>

有限会社 **大名**

広島県尾道市栗原町2-1 3F Eメール sengoku-54jp@hi.enjoy.ne.jp

TEL.0848-29-3936 FAX.0848-29-3937

届けますっ! **大和魂** 2019年6月 Vol.30

经营理念

有限会社大名は「届けますっ大和魂!」を合言葉に
日本の歴史、古美術を発信し、貴方(お客様)の
趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します

ハナエモンの

今年も福島県の**戦国時代にタイムスリップ!**

くにしていじゅうようむけいぶんかざい そうまのまおい
今年も **国指定重要無形文化財・相馬野馬追** という祭りの季節がやってまいりました!

このお祭りは **一千有余年** もの昔から続いている祭りです!!

当社のお客様のなかにも、参加されている方が多数いらっしゃいます。

相馬家の祖といわれている平将門が野生の馬を放ち、敵兵に見立てて追い、捕まえる軍事訓練
として、そして捕らえた馬を神前に奉じたのが起源とされています。500余の騎馬武者が、
約3キロにもわたる甲冑行列は迫力満点!! 戦国時代にタイムスリップしたような錯覚を覚え
ました。その後は騎馬武者達の甲冑競馬と続き、空高く打ち上げられた2本の御神旗を数百騎の

騎馬武者が奪い合います。その時に響く、旗指物の
バサッバサッバサッという音、最高です!

もの凄い迫力で圧倒されましたっ!

東日本大震災にも負けず、千年以上も続く、
この祭りを微力ながら宣伝させて頂きます。



相馬野馬追

2019年
7/27(土)・28(日)・29(月)

7/27(土)

- ・出陣……………相馬中村神社/相馬市
- ・総大将お迎え……………南相馬市鹿島区
- ・宵乗り……………雲雀ヶ原祭場地/南相馬市原町区

7/28(日)

- ・お行列……………野馬追通り/南相馬市原町区
- ・甲冑競馬……………雲雀ヶ原祭場地/南相馬市原町区
- ・新神争奪戦……………雲雀ヶ原祭場地/南相馬市原町区

7/29(月)

- ・野馬懸……………相馬小高神社/南相馬市小高区

利用料金: 当日入場券1,000円(高校生以上)
お問い合わせ: 0244-22-3064 (相馬野馬追執行役員会事務局)

こんにちは、島谷貴子です。皆様、お元気ですか？
お客様から、『刀の展示会を見に行くと解説に「金線、砂流し、白い」などの専門用語が多く羅列され、解らないので、教えて欲しい。』とコメントをいただきましたので、刀剣鑑賞の際の用語について3回に分けて語らせて頂きます。
今回は「鑑賞のポイント」、^{じがね}「地鉄」についてです。

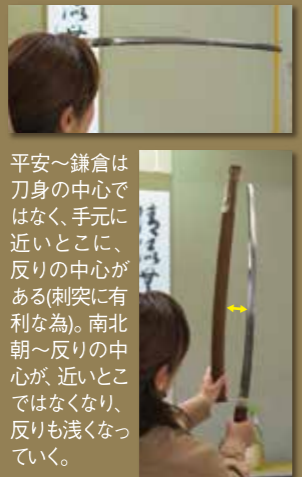


～鑑賞のポイント～

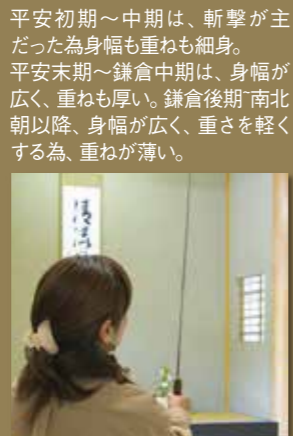
1 垂直に立てる
(刀の姿を全体的にみる為)



2 反りの中心がどこにあるかを見る
(時代を見る為)



3 厚み、形、幅をみる
(時代を見る為)



4 ^{じがね}地鉄、刃文をみる



平安～鎌倉は刀身の中心ではなく、手元に近いところに、反りの中心がある(刺突に有利な為)。南北朝～反りの中心が、近いところではなく、反りも浅くなっていく。

平安初期～中期は、斬撃が主だった為身幅も重ねも細身。平安末期～鎌倉中期は、身幅が広く、重ねも厚い。鎌倉後期～南北朝以降、身幅が広く、重さを軽くする為、重ねが薄い。

～(4)の地鉄とは～

まず原料の砂鉄から作られた「玉鋼」を何度も折り返し、鍛えることで不純物が取り除かれる。その際に刀身に浮かび上がった模様(肌)。

刀工の個性(鍛錬方法)や、時代、地域、流派、玉鋼の原料等で、肌に出てくる模様が違います。種類は大きく分けて「^{まさめはだ}柁目肌」「^{いためはだ}板目肌」「^{もくめはだ}杓目肌」、他に「^{あやすはだ}綾杉肌」「^{なしじはだ}梨地肌」「^{こぬかはだ}小糠肌」「^{むじ}無地(鏡)肌」等があります。木材の断面の模様に見た目が似ている為、そう呼ばれています。一種類ではなく、色々な種類が合わさって肌に現れることが多い為、細かく分けると20種類以上にもなります。その内、代表的な6種類をご紹介します。

種類名	^{まさめはだ} 柁目肌	^{いためはだ} 板目肌	^{もくめはだ} 杓目肌	^{あやすはだ} 綾杉肌	^{なしじはだ} 梨地肌	^{こぬかはだ} 小糠肌
特徴	いくつもの線が平行に走っている	山や波のような模様が連なっている	年輪のような模様	波がうねっているような模様別名、月山肌とも言う。	金梨地のように見える模様。	米の糠のように粒が揃い、肌が潤っている。別名、肥前肌とも言う。
画像						
地域の特徴	大和系(奈良)の鍛冶が多い。	相州系(神奈川)の鍛冶が多い。	備前(岡山)系の鍛冶・古刀に多い。	奥州(秋田の一部、福島・宮城・岩手・青森)の月山派に多い。	山城(京都)粟田口派に多い。	肥前(佐賀・長崎(壱岐・対馬除く)系)の鍛冶に多い。

地域で取れる材料と、鍛錬方法で、刀の肌の姿がこんなにも変わることには驚きました。
刀の元になる玉鋼を、何度も^{つら}槌で叩いて打ち延ばしたものを半分にし、その工程を15回以上も繰り返すことで強靱な刀ができていき、更には材質や気候全てが絶対一緒ではなく、同じものを二度と作れない「唯一無二」の物。当時にタイムスリップして、材料の細かい調合などを目の前で見てみたいなあ～と思いました。
今回は地鉄の中の働きについて、語らせて頂きます。

ハナエモンの **タイムスリップ!**

こんにちは! 今号ではお客様からリクエストのあったこの方にタイムスリップ!

戦国きっての長寿命大名 **毛利元就**
国人領主から、中国地方8カ国を治めるまでになった武将。

急死が続いて、毛利家当主に
安芸(広島)の国人領主(町長程度でしょうか?)毛利弘元の次男として産まれました。3歳の時に母が亡くなり、10歳の時には父が、酒毒で亡くなりました。父の死後、家来から領地を奪われ、一族は城から追い出されてしまいます…。しかし数年後、領地を奪った元家来が急死したことで、戻ってくる事ができました。20歳で兄が亡くなり、兄の嫡男(幸松丸)が幼少(2歳)のため、後見人となります。幸松丸が9歳で急死すると、重臣達の推薦で27歳の元就が、毛利家当主になりました。

西国の桶狭間
幸松丸の後見人となった直後、毛利家が動揺していると思った隣の城主・武田元繁が攻めてきました。その時の兵力差は、毛利軍1,000人に対し武田軍5,000人と、5倍だったと云われています。しかも、後見人の元就は20歳で初陣です!初陣がいきなり、毛利家の命運を分ける戦い。当初は数で勝る武田軍が優勢でしたが、猛将として知られる熊谷元直が、運悪く矢を受けて討ち死にしたのに続き、武田元繁も討ち死にしたことで一気に毛利軍の勢いが増し、勝利をおさめました。

父も兄も酒が原因での早い死
元就は毛利家が酒に弱い家系だと考え、生涯、禁酒を通したそうです。息子達にも「酒は分をわきまえて飲み、酒によって気を紛らわすことのないようにしなさい」と、説いていたそうです。しかし残念ながら、長男の隆元は40歳の若さで亡くなってしまいました。

若くして、毛利家を引っ張っていく立場になったからか、先見の明を評価されている元就。弱小大名時代には、大内家、尼子家の間を渡り歩き、生き残り、最終的には飲み込み。中国地方8カ国を治めた後は、勢いのある織田信長の力量をしっかりと把握し、これ以上の領土拡大を禁じた元就。領土拡大を目指して、九州、四国、近畿へと手を広げていたら、高齢の元就の死後、すぐに滅んでいたかもしれません。その先見の明がなければ、幕末から明治維新への大転換期に、日本を引っ張っていった長州出身の志士達の活躍も無かったかもしれませんね。